

## 転貸融資が3割減

### 14年4～12月金融事業実績

北保証サービス

<p>北海道建設業信用保証グループの北保証サービスは、14年度第3四半期まで（14年4～12月）の金融事業取り扱い実績をまとめた。地域建設業経営強化融資制度（転貸融資）は12億2315万円、過去最高の取扱額だった前年度の同期と比べ31・7%減少。下請債権保全支援事業は30・7%減の14億6517万円となった。</p>	<p>建設企業が公共事業などの工事請負代金債権を前払金保証事業の専門子会社など金融機関に譲渡し、工事の出来高に応じた金融機関から転貸融資を受ける仕組み。14年度は第3四半期までに67件（前年度同期比14・1%減）で、12億2315万円（31・7%減）を融資した。</p>	<p>前年度が過去最高の取扱高だった反動もあり、上半期までは51・2%減と半減していたが、第3四半期は年末に向けた資金需要などで減少幅を縮小。例年、年度末に取り扱いのピークを迎えることもあり、需要は今後、増えていく見通しだ。</p>
<p>転貸融資制度は、元請</p>	<p>発注者別の金額は、国が63・7%減の2億9694万円、独立行政法人</p>	<p>などが93・8%減の780万円、北海道が31・6%減の2億3226万円、市町村は唯一増加し35・8%増の6億8615万円となった。</p>

事業は230件（8・7%減）、14億6517万円（30・7%減）。内訳は個別保証の売掛金保証が43・6%減の4億7143万円、同じく手形保証が15・9%減の7億5151万円、枠保証が36・9%減の2億4222万円となっている。